

平成 22 年度 事業 報告 書

財団の設立目的である勤労者の雇用促進と福祉の向上に寄与するため、平成 20 年度に策定した『札幌勤労者職業福祉センター事業計画』の 4 つの重点方針（安心して働ける環境づくりの支援、地域に根ざした賑わいのある空間の創出、公益性の強化と健全運営の両立、環境にやさしい施設運営への転換）に基づき、事業を展開いたしました。

平成 22 年度の利用状況については、年間利用者 51 万人の目標に対して、約 49 万人と約 2.0 万人減（▲4.2%）となりましたが、ふれあい広場の利用を加えると約 51.6 万人の利用になりました。

事業の収支については、事業収入 8 億 6 千万円の目標に対して 4,853 万円（▲5.6%）減の 8 億 1,147 万円となりましたが、E S C O 事業の導入による光熱費の削減に併せ、支出全体の見直しを実施した結果、損益におきましては、税引後で約 4,021 万円の黒字となりました。

各部門の利用状況等は以下のとおりです。

I 勤労者福祉事業等

1 雇用促進、就業支援事業

札幌市教育委員会、札幌商工会議所と連携し、近隣小中学校をはじめ市内高等学校のインターンシップ（20 校、延べ 150 人：過去最大規模）を受け入れました。

また、札幌市との共催事業として、広場をメイン会場に『合同企業説明会』（平成 22 年 9 月 8 日、平成 23 年 2 月 16 日の 2 回）を開催したほか、さっぽろ季節労働者通年雇用促進支援協議会主催の『合同企業説明会』（平成 23 年 2 月 24 日、平成 23 年 3 月 15 日の 2 回）に会場を提供し、雇用の拡大に協力をしました。

2 地域関連事業

地域社会への貢献を目的として、『スローライフ・イン・に一よん』事業をはじめとする町内会、商店街、料飲店協会等が主催する事業に積極的に参加・協力し、地域交流、活性化に取り組みました。

主な事業としては、以下のとおりです。

- (1) 交通安全運動（新入学児童交差点見守り、街頭啓発参加等）
- (2) 暴力追放街頭啓発活動（1 月以外の毎月 1 回：日曜日以外の 10 日に実施）
- (3) 献血協力（5 月 13 日：正面入口前）
- (4) 24 はしご酒（6 月 2 日：広場及びラウンジ）
- (5) に一よんストリートライブ（5 月～9 月第 3 土曜日：に一よん広場）

- (6) フラワーロード事業（5月末～10月初旬）
- (7) フラワーネット事業（6月10日花植え）
- (8) ガーデニングコンテスト（6月28日審査：バス運行協力）
- (9) 海の日こども祭り（7月19日：北区駐車場）
- (10) ノースロード24フェスタ（7月29・30日：屋外（正面）、広場他）
- (11) 野外コンサート（10月2日：悪天候のため広場使用）
- (12) 24健康まつり（10月9日：広場他）
- (13) ファイターズトーク&サイン会（12月8日：広場）
- (14) 24ロードウインターフェア（年末、12月29・30日抽選会：広場）
- (15) さっぽろ商店街「まちの灯り」（1月21日～27日：に一よん広場他）
- (16) 北24条ふれあいコンサート（1月30日：音楽ホール）

3 環境関連事業

平成22年1月から開始したESCO事業の充実を図り、省エネルギー化を推進しました。また、利用者の協力も得ながら『エコキャップ運動』にも継続して参加しています。

II 札幌サンプラザ運営事業

1 プール

教室運営では、短期教室の開催・生徒募集に併せ新規入会キャンペーンを実施し会員増を図ると共に子ども対象のキャンプやスキー教室、成人向けの日帰旅行や親睦会の開催などにより会員の定着に努めましたが、対前年550人減の利用人数となりました。（3月末時点の会員数は1,210人）

一般開放は、平成21年度から時間を延長したこともあり、対前年2,123人の利用増となりました。

利用状況は以下のとおりです。（ ）内は平成21年度実績

(1) 水泳教室	利用人数	71,138人	(71,688人)
	1日平均	195人/日	(196人/日)
(2) 一般開放	利用人数	19,187人	(16,514人)
	1日平均	53人/日	(45人/日)

2 音楽ホール

自主公演『人形劇まつり』、『オペラ公演』を継続して開催した他、地域の小中学校の吹奏楽演奏会や芸能系文化教室の発表会を開催、また、北区主催の『伝統芸能フェスティバル（歌舞伎公演）』やいのちの電話が主催するチャリティコンサート等に協賛しました。

利用促進の1つとして提供している『練習プラン』のPRなど利用増に努めましたが、対前年18件、6,004人の利用減と、前年度実績を下回りました。

()内は平成21年度実績

(1) 利用件数	200 件	(218 件)
(2) 利用区分数	474 区分	(515 区分)
1 件あたり	2.4 区分/件	(2.4 区分/件)
(3) 利用人数	68,622 人	(74,626 人)
1 件あたり	343 人/件	(342 人/件)
(4) 稼働率	59.6%	(65.4%)

3 文化教室

講座数は102講座(短期講座含む。)と前年を上回る講座数となりましたが、利用人数は、23,217人と、対前年97人減となりました。

秋には広場において『カルチャー祭』(作品展)、1月には音楽ホールで芸能系教室の発表会を開催し、合わせて1,500人の来場がありました。

(平成21年度実績：23,314人、98講座)

4 会議・研修

継続物件の受注に併せスポット的な大型物件(日本TDM学会等)の利用があり、件数は2,385件(対前年135件増)、利用人数は111,671人(対前年11,453人増)となりました。(平成21年度実績：2,250件、100,218人)

5 宿泊

道内セールスを実施し、スポーツ、文化系の大会参加時の宿泊、小学校の研修旅行時の宿泊等のセールスを実施すると共に、引き続きファミリーハウスとしての提供等、利用促進に努めました。また、平成22年度からはインターネット予約サイトへの積極的な部屋の提供を実施した結果、利用人数は16,579人と前年を1,462人上回り、客室稼働率は1.7ポイント増の55.6%となりました。(平成21年度実績：利用人員：15,117人、客室稼働率：51.1%、人員稼働率：48.2%)

6 レストラン

『麺フェア』、『ビールフェア』、『メガ・ギガフェア』などのフェア、『飲み放題プラン』の充実、さらに9月からはTF Tプログラム参加メニューの『ヘルシーお膳』(北保健センターと協力)を提供しました。

また、『クリスマスピアノコンサート』、『ワインセミナー』などの企画を引き続き実施し利用の拡大を図りましたが、対前年3,134人減の111,121人の利用となりました。

しかし、経営計画に定めました部門別損益における収益性の改善においては黒字化が図られ、目標を達成しました。

(平成21年度実績：利用人数：114,255人)

7 宴会

(1) 一般宴会

自主事業の『晩餐会』等の企画を交え、継続物件をはじめ、新規物件の受注拡大に努めましたが、1,402件（対前年38件減）、62,299人（対前年4,054人減）となりました。（平成21年度実績：1,440件、66,353人）

(2) 法要

年間5回の内覧会の開催、DMの発送、HPを活用したPR等を行った結果、269件（対前年4件増）、4,865人（対前年96人減）となりました。（平成21年度実績：265件、4,961人）

8 駐車場

利用台数は116,769台（対前年3,181台減）、1日平均では319台の利用となりました。（平成21年度実績：利用台数：119,950台）

Ⅲ ふれあい広場利用状況

近隣小中学校、高等学校、文化団体の作品展示会、札幌市主催の『合同企業説明会』や勤労者の雇用保険受給手続会場として、また毎月11日には、サッカー関連イベントの利用、年末には地元商店街（北24条商店街）との共催によるイベントを実施。

自主事業としては、年末に親子餅つき大会、年始にはオリジナルカレンダープレゼント、昔遊びなどのイベントを開催した結果、利用件数63件、約26,200人の来場者がありました。（平成21年度実績：利用件数：73件、利用人数：約32,000人）

Ⅳ 理事会及び評議員会の開催

1 第1回 理事会・評議員会（平成22.6.25 札幌サンプラザ）

【評議員会】

- (1) 平成22年度 補正予算
- (2) 平成21年度 事業報告
- (3) 平成21年度 決算報告及び監査報告
- (4) 理事及び監事の選任

【理事会】

- (1) 理事長等の選任
- (2) 平成22年度 補正予算
- (3) 平成21年度 事業報告
- (4) 平成21年度 決算報告及び監査報告
- (5) 評議員の選出

2 第2回 理事会・評議員会（平成 23. 3. 22 札幌サンプラザ）

【評議員会】

- (1) 平成 22 年度 補正予算
- (2) 新公益法人制度への対応
- (3) 平成 23 年度 事業計画
- (4) 平成 23 年度 収支予算
- (5) 理事・監事の改選

【理事会】

- (1) 平成 22 年度 補正予算
- (2) 新公益法人制度への対応
- (3) 平成 23 年度 事業計画
- (4) 平成 23 年度 収支予算